

刊夕日一廿月十

# 常盤每日新聞

定価 一月五錢 三月一圓二錢 半年二圓二錢 一年四圓二錢  
 廣告料 五錢 十二字第一行 五錢 五字第二行 三錢  
 日曜祭日の翌日休刊  
 發行所 常盤毎日新聞社 電話 六二〇〇  
 印刷所 常盤毎日印刷株式会社

## 小賣商店の新らしき脅威 (四)

(消費組合と購買組合の簇生)

3・T・Y 生

鐵道の購買部、任意組合として大きいのは鐵道の購買組合である。國有鐵道共濟組合購買部と云ふのであり、共濟組合の一事業となつてゐる。鐵道従業員二十萬人の八割五分即ち十七萬人が組合員で大變な大世帯である。米、味噌、雜穀、薪炭、醬油、砂糖、雜貨を取扱ひ取扱高は昭和五年度二千九百萬圓、同六年度二千六百九十萬圓におよんでゐる。昭和五年より六年の方が少いのは物價下落の爲である。本省に中央部各鐵道局に地方部があり更に運輸事務所工場其他必要の場所に支部を設け又其下に配給所があつて遺憾なき配給網が布かれてある。仕入は生産者からと云ふことを原則としてゐるが仲次商人からも買ふ場合がある。

共濟組合からの借入金百萬圓、自己資金三百四十萬圓、合計四百四十萬圓の資金を以つて現金仕入を行ふ上、手おてのものゝ運賃が八割引と云ふことに成つて居り監督に屬する役員は經費は本省から補助される等運賃

や經常費の點に於て非常に有利で販賣値の如きも市價より可成り低位にある經營上の好條件に恵まれた大規模組合である、其他任意の組合状況は統計に表はれたものがないから判らないが東京府だけでも百以上ある。百貨店が恐れる、一方産業組合中央會では農村に於ける購買組合は相當に發達して來たが都會地に於ける消費組合は未だ遺憾の點尠からずとあつて都會地購買組合の統制強化を圖り度い意嚮で全購聯には



### 思ひ出

飯村 閑舟

なつかしかつたよ 夏の海 乳色まじりの 砂濱に いそいそ楽しむ キャンピング、歌ふは純な ソプラノの 波の乙女の 聲なるか つひにつられて ランラン ラーと はしやぐもーおかし ダン シング

なつかしかつたよ 海の夜 は 闇にちらつと 咲く光り あれば一航路の目じるしか ライトハウスの ひらめきに キャンプ、ファイヤーかこみ、

語り明した夏も過ぎ 秋の孤影に暮れてゆく

【朝】煮豆：うづる豆  
 【晝】煮込：ちくわ 里芋  
 【晚】やき肴：鮮魚

響あるべきことは火を見るよりも瞭かである。斯くて現に早くも反産業組合運動の火の手が各地に起つて來た。反産業組合運動と云ふのは各種の主張があるが大體購買事業販賣組合の販賣、事業利用組合の利用事業の進展に依つて營業者の受ける打撃甚だしきものあるにより産業組合に與へられてゐる各種の特權を撤廢せよ然らずんば吾等にも産業組合同様の特權を與へて中小商工業者を没落の悲境から救へと云ふことに主眼を置いてゐるものが多い。

配、事あれば水火の難にも注意南北凶(六白)思ふ事は横槍が出て達し兼ね又尋れば留守と云ふ不平の件多ければ現状維持吉未申丑寅凶(七赤)金は手に入り喜悅の日なれば酒色の爲に家内不和を來す東西凶(八白)金談談談取引萬事吉戌亥と辰己は凶(九紫)病氣怪俄続れ混雜を引起す事あれば萬事に注意


美味で！  
 評判の……  
 イワキ  
 サロン  
 電 352

木村 外科醫院  
 平町五丁目橋際  
 電話九〇三番

咽喉專門  
 平町田町七〇番地  
 山内醫院  
 醫學士 山内亨吉  
 電話六九一

夏から秋・冬へ!!!  
 「衣裳御着替」  
 特に勉強致します  
 旭屋 一六銀行  
 平三丁目 電話二五番

難波 睦  
 醫學博士  
 内科一般  
 平町大町新川端  
 電話五〇二

服小倉服 賣出し  
  
 小學生 中學生 特製A 三圓五十錢  
 中學生 特製B 三圓六十錢  
 小學生 特製C 一圓六十錢  
 紺ヘル 三圓二十錢ヨリ  
 平町 正札堂洋服店 電話三六

# 煙りになつた

## 三二十萬圓

### 半年間の煙草代

#### 景氣の好轉からか 高級品の賣行良好

平煙草小賣賣所が本年四月より九月迄の上半期に於いて郡下三十二ヶ町村小賣人に配給せる煙草の賣渡額は二十九萬四千八百圓で前年同期に比較すると約一萬圓三分八厘の増收となり此の品種別賣上高を見ると口付では朝日の三十五萬箱四萬七千圓、兩切ではパットの百六十萬箱十萬六千圓が最高、刻みはナデシコ一點

## 入山郷軍を中心

### 湯本や平の青訓が参加して

#### 發火演習を試む

入山炭礦従業員中の在郷軍人を主とし湯本町青年訓練所及び平町青訓機關銃係が参加し人員二百三十名に依る發火演習は既報の如く來る十一月五日午前八時より東軍白川少尉、西軍原少尉指揮の下に入山谷地内に於て遭遇戦を行ひ東軍は入山グラウンドに退却して追撃肉弾戦を展開し午後二時終了同グラウンドに於て分列式舉行在郷軍人歌合唱、統監部長吉田所長の閉會のあ

一部は田場坂より小野田方面に轉進せるの状況に接し支隊長は速に擊破するに決し堀坂附近より尖兵中隊たりし白川部隊を高倉谷地に急進せしむ

△西軍

一、四倉海岸に上陸西進中なる敵に對し平町占領の任務を以て御齊所街道を前進中なる西軍支隊は左側の警戒と兼て支隊の平地進出を容易ならしむる目的を以て原部隊を田場坂小野田高倉を経て堀

## 雑貨の共同購入

### 産業組合が講習

石城産業組合部會では來る廿四日午前十時より團體事務所樓上に協議會を開き肥料の共同購入法に就いて打合せを行ふ向廿六日には午前九時から同所に各組合の雜貨購入取扱に就いての講習會を開くと

## 漁村産業

### 組合協議

當日の事項

既報來る廿三日午前十時より石城團體事務所樓上に開かれる縣主催の漁村産業組合の協議會には左記事項を協議する

一、漁獲物販賣統制に関する件

一、購買事業促進に関する件

一、利用設備に関する件

一、資金充實に関する件

一、組合員数の増加に関する件

## 青年訓練

### 評議員會

既報來る二十四日午後一時より平第一校で開かれる石城郡聯合青年訓練所評議員會の協議事項は左の如くである

一、聯隊區司令部より照會の縣下青訓演習参加に関する件

二、石城郡青訓演習に山砲隊派遣申請の件

三、石城郡青年訓練所聯合會規則改訂案審議の件

## 鮫川水利議員改選

### 組合で名簿調製中

すべく明朝平發五時にて横田瓜田井上各訓導引卒の下に出場するが出場選手は左

の如くである

瀬戸利男 寺田久 石川武夫 井上朗 佐藤喜一

鮫川環水利組合では來月十五日玉川、小名濱、植田、泉、上遠野、渡邊各町村役場に於いて本年度組合議員の資格者原簿の調製中である

## 平商選手練習

競技部では來る十一月五日午前九時より入山炭礦競技部主催の下に同礦グラウンドで開催される濱三郡陸上競技選手権大會に出場すべく目下係教諭指導の下に猛練習中であるが出場選手は左の如くである

## 濱三郡兒童のドッチボール

濱三郡小學校ドッチボール大會は來る十一月十九日平第一校で開催するが申込締切は十一月十日迄である

## 美味！芳醇！

# 宗正らひた

山崎合名會社  
電話一〇番

弓道初發會式 石城武徳會四倉分會の弓道部發會式は廿二日午後一時から同町公園内で舉行する

## 教育縣外視學

石城教育部會では來る十一月下旬頃新潟、富山、石川方面に視察員三名を派遣すべく目下選衛中である

## 平町人事

### 回出生

△八幡小路三八吉田友次氏 三男三男

△長橋町一六齋藤喜三郎氏 三男隆

△南町一六和田郡司氏三女昌

△回死 亡

△久保町二七戸主遠藤彦治 六七

## 巡回診療

### 各村の日程

平署駐在巡回診療班は本月中左記日程で巡回診療に當ると

十月廿六日鹿島 廿七日箕輪 廿八日永戸 廿九日川前 卅日貝宿 十一月一日荷路夫 二日石住

## 第一校選手

平第一校では明日開催される双葉中學校陸上運動會の濱三郡小學校兒童八百米競走に出場するべく

平商から出席 平商矢野、第一篠山、第津田

# 「コツ、コツ」と響く 生を 信號に

## 力を得て遂に救助

### 十八時間土砂に閉ざれ

### 二名仲々の重態

既報昨廿日午前二時内郷村高坂磐城炭礦第三斜坑内で大落盤の爲め出口を閉塞され生埋めとなつた坑夫岩瀬郡仁井田生れ森政幸(三)及び秋田縣雄勝郡小田村生れ泉忠治(三)兩名の生死は、不明を傳へられたが碎岩機を携帶した救援隊死隊が多量の危険を冒して勇敢にも埋没土砂の中に突入し坑道を開鑿中同日午後六時頃に至り内部より「コツ、コツ」と岩盤を叩くが如き音響が聞えて来たので多分前記遭難者の生存信号であらうと元氣百倍し救助作業を繼續午後八時頃漸く泥まみれとなつて氣息奄々たる二名を

### 発見し

感激の餘り萬歳を連呼して擔荷に乗せ難なく坑外に搬出炭礦病院に於いて應急手當を加へ目下治療中であるが兩名共十八時間に亘り飲食せず食はずで土砂の中に呼吸困難を極めて居た事として仲々の重態ながら身体には別段の怪儀もなかつたから間もなく回復するであらうと

### 困難を

極めて居た事として仲々の重態ながら身体には別段の怪儀もなかつたから間もなく回復するであらうと

## 青年の驛傳競走

### 八分團の選手勇躍して

### 明治節の佳辰に

既報来る十一月三日明治節の佳辰をトとし午後一時より舉行される平町青年團主催各分團對抗驛傳競走の出場申込分團は目下の處昨年優勝した月見町を始め胡摩澤、新川町、城山、鎌田、田町、商町、白銀の八チ一

## 二名の女を 賣り飛ばして 身の代金横領

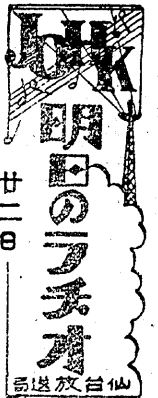
その身の代金を横領した事發覺目下平署で取調中

内郷村大字綴居住無職清水誠(三)は本年五月好間村大字北好間字町田の本田タケヨ(三)及び丸山ツル(三)の兩名を東京附近で就職させると言葉巧みに説きつけて連れ出しタケヨは前借六十圓で神奈川縣横須賀市佐原町飲食店鈴木新三郎方へまたツルは前借五十圓で同市遊廓ちんや樓方へ住込ませ

## 三津五郎丈が敗く

### 五千二百圓の貸金請求事件

既報平銀治町志賀甚吉氏對東京松竹興業會社專屬俳優東三津五郎事守田壽作氏間の貸金五千二百圓の請求事



明日のラジオ  
今夜も明日も北西の風強く天気良くなる

## 今晩の部

後六、〇〇(子供の時間)ラヂオスケッチ「十月日記」(東龜吉作) 出演青空子供會  
後六、二五 講演「飛行機と國防」陸軍少將 大場彌平  
後七、三〇 時事解説「洋樂の夕」 絃樂四重奏  
後八、〇〇 絃樂四重奏「秋に寄す」東京クワルテット  
南町一警察署前

## 明日の部

後八、三〇 ピアノ獨奏「夜想曲外」レオショロタ  
後九、〇〇 管絃樂「古典組曲」日本放送交響樂團指揮者 山田耕作  
後九、三〇 時報ニュース 氣象通報 番組豫告  
前九、一〇 榮養料理献立「鯉のおろし和」主料理「野菜のてんぷら」副料理「前」一〇、〇〇 宗教講話

## 郷土讀本

### 参考に出陳

石城教育會では来る十一月四日より三日間福島市教育會館で東北、北海道聯合教育大會が開かれるので参考品として郡下各小學校の郷土讀本を出陳すると

## 激浪に打たれて 突堤が押流されて

### 豊間港内一時危険に陥る

### 早速應急工事

目下修築中である豊間漁港の開閉突堤約三十米は昨廿一日夜十時頃激浪の爲めに押流され漁港内は一時危険に陥つたが築港事務所は直ちに人夫を動員して應急工事を施し大被害を免れたと損害約四百餘圓

## 二七電燈社員に

### 求刑通り懲役二年六ヶ月

既報宮城縣遠田村生れ目下住居不定猪股時雄(三)が東部電力外資員と詐稱し郡下各所を荒し廻つた窃盜詐欺恐喝事件に對する判決言渡

- △外交員 四十才 賣上の一割五分給す(平町某)
- △養鶏手傳 三十以下 尋卒 月七八圓(平窪村某)
- △トラツク助手 二十五才 尋卒 月五圓(江名町某)
- △回職を求むる方
- △土工 二十七才 高卒 給料面談(内郷村某)
- △事務員 二十五才 南卒 給料面談(平町某)
- △雜夫 二十八才 尋卒 給料面談(平町某)
- △職工 二十七才 尋五修 給料面談(赤井村某)



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第六十九回

血に飢ゆる村正

因果同志と諦ろ

次「兩親へ繼つてどうか金を拵へやうと態々在所へ行つて見ると丁度親父が死ぬ所で臨終の際に俺の事を訪ねて居るソコへ飛込んだので家中の者が驚いた。お前の事も氣になるが親の死水も取らにやアならねえ、兎角する中氣落をしたか阿母も續いて大病、サア病氣の世話から藥の世話、皆な俺が一人でしたのだ、其の事を手紙に書いて遣さうと思つたが何をいふにも多い親類、人目があるので其儘に捨て、置く氣もなくツイ今日まで便りをしなかつたが今ぢや親父の跡を繼ぎ佐野の船橋で絹商人で幾らか金も出来て居るゆえ、實はお前をさがしに江戸へ行つたのだ」

紺「嘘だ嘘だ、又妾を欺すのだ、二年や三年ぢやアなし十五年も打捨つて置きやアがつて今會つたからそんな氣休めをいふのだろふモ一聞かねえ、何事も聞かねえ」  
次「夫ぢや話が分らねえ、おこん斯うしやう俺が嘘を吐くか吐かねえか、今からお前を駕籠に乗せて」

家へ連れて行き金に明して療治をしたら直らねえ事もなからう俺は片時傍を離れねえでお前の療治はキツとしてやる、何も云はずに俺と一所に船橋へ来て見るがい、身上は出来たが女房



は持たず只お前の行方をさがして居たのだ」と辯舌のよゝ次郎兵衛が空涙を流しながら安々おこんに云つて聞かせると根が惚れて居るおこんの事、年は老つても顔形が變つても扱て情愛

變なもので、次郎兵衛にいろ／＼云はれるので分つたものと見えて  
紺「そんなら次郎さん此んな姿になつた者をお前はキツト連れて行つてお呉れかねえ」  
次「連れて行くとも渡しを越せば駕籠もあるし、餘まり雪が烈しけりやア今夜蕨の宿へ泊つてゆつくり支度をして行かう」  
紺「それが本當なら有難いお前が行つて了つてから赤坂の宅は了つて初めの中は心安い所を一晚泊りをして居たが、其内段々悪くなり

こんな身体になつたゆえ誰も構つて呉れる人はなし、今までの罪の報ひで此の様な難儀をすと思つても、お前の事が氣になつて死なずに居たのが幸ひで、連れて行つて呉れるとは次郎さん真正に有難い」  
次「話して見りやア判る事だ、先刻のやうに人でなしの何のと人が聞かねえから宜いやうなもの、役人の耳へでも這入ると折角洗つた次郎兵衛の身体にヒビが入るじやねえか」  
紺「悪かつたから堪忍してお呉れ」  
次「何にしても餘まり汚ねえや、人の來ねえ内に顔でも少し洗つて見な、然うして蕨へ着いても此の姿ぢやア宿屋で泊やしねえ顔や手足を洗ふ中俺が下着を脱いで着せるから早く顔を洗ふが宜い」  
紺「然うかえ夫ぢやア洗ひばえもしないが、洗つて行かうか」と何の氣なしに着て居た襦を脱いで了へ河原へ來て横になり降り積る雪の中に顔や手足を洗つて居る、後へ廻つた次郎兵衛はシツカリ押へてやりなが

次「可哀想だが仕方がねえ昔と違つて堅氣になつた次郎兵衛が汝を生かして置いた日にやア枕を高く寝られねえ、夫で非道の事をする敵同志と諦めて迷はねえ様に冥途の道些とも早く行くが宜い」  
紺「エ一人に油断をさして置いて又物で私を殺すとは人に恨みのねえものか物の三日とは生かして置かぬ、後の怨みを思ひ知れ」  
次「エ、曳かれ者の小唄とは汝の事だ、恨みがあるなら祟をしる背に腹は換へられねえ」  
と、其儘次郎兵衛は江戸節おこんを殺し、遂々戸田の川邊へ斬り込みました時雪の夕なら殊更に寒さの時とて、人往き來の稀なのはまだ悪運が強いのでございませ、其儘に血を押拭つて鞘に納め脱ぎ捨て、ある笠を取上げ之を冠つて渡船場へと急ぎました。

次「お紺危ねえせソラ此方の耳の傍に膿が流れて居らアそこを能く洗はなけりやアいけねえ」  
紺「幾ら洗つても久しくこびり附いて居るのだから却々取れやアしない」  
次「取れねえ事はねえモツト力を入れて洗つて見な」と左の手に細帯を押へて右に道中差を引抜きおこんの脇腹の所へグツと突込みました、おこんはウーンと云ひながらへ押して居る次郎兵衛の手にしがみ付き  
紺「オイ汝は俺を欺して殺すのだな」

**木村外科専門院**  
花柳外科 科病柳花外  
院醫科外村木  
際橋目丁五町平  
〇九三話電

**肉相 弾**  
愈々今晚午後六時より  
聚樂館に於て開催致します  
入場料 中學生三十錢 小學生二十錢 割引  
主催 いはさ新報社  
高木 越司

**秋の流行は三井**  
本場 銘仙の各種  
斯界の新柄  
毛斯リン着尺の粹  
店服吳井三  
番八三電三平

**日本一の フクロクストーブ**  
絶對煙突掃除ノ要ナキ  
完全無缺ノ理想的ストーブ  
電話三七番へ御下命下サレバ  
カタログ持參御伺ヒ致シマス  
平停車場前  
福島縣一手  
販賣所  
**阿部石炭商店**

